

滋賀

GPN

Shiga Green Purchasing Network
滋賀グリーン購入ネットワークニュース
第18号 2010年8月

News



環境への負荷が少ない商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

GPN Green Purchasing Network

CONTENTS

- 報告「2010年度通常総会」…………… 1
- 第6期新役員紹介 …………… 4
- エコ情報室1
「生物多様性と食のグリーン購入」…………… 6
- 会員からのお知らせコーナー …………… 6
- エコ情報室2
「太陽光が作るクリーンエネルギー」…………… 7
- リレートーク
しがぎんリース・キャピタル(株)…………… 8
- 編集後記…………… 8

2010年度 通常総会

開催日：2010年5月27日(木)
13:00～通常総会
14:30～講演会
16:50～会員情報交換会

場 所：滋賀県庁新館 大会議室

参加者：141名



総会FLASH

2010年度通常総会の概要について
報告いたします。

基 調 講 演

「低炭素社会への環境経済戦略」

講師：京都大学大学院 経済学研究科 教授 植田和弘氏

《講演要旨》

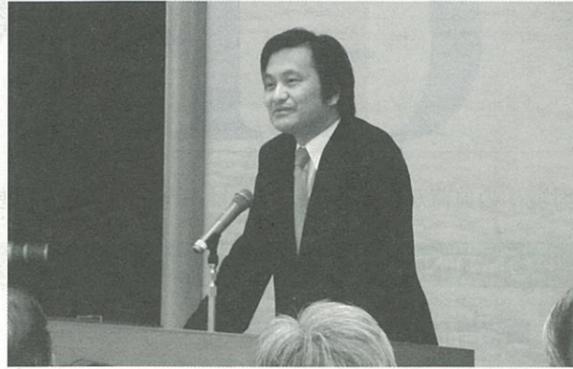
低炭素社会をつくるためには、「環境」と「経済」の両方を総合的に考える必要があります。しかし、環境負荷を減らそうとすると、経済成長率は低下し、景気回復を図ろうとすると環境負荷が増えると言われていています。そうすると必ず「環境」と「経済」どちらをとるかという議論が生じますが、どちらか一方をとるといふ妥協が最善の策と言えるのでしょうか。

EUの公式文書に、「デカップリング」という言葉が出てきます。日本語でいうと切り離す戦略、非連動型発展という略語が使

われます。対義語である「カップリング」という言葉は、経済が停滞すると環境負荷が減ることで、経済成長が25%減少しないと、温室効果ガス25%は削減できない、ということになります。これでは受け入れられないということで、経済成長はするが、温室効果ガスは減るといふ「デカップリング」という言葉が出てきました。しかし問題はどうか実現するかです。その一つはもちろんイノベーションです。技術そのものの根本を変える、脱物質化という考えで、同じものをつくるなら使用する物質やエネルギーをできるだけ減らそうというものです。

もう一つが生産や消費や流通や廃棄を低炭素型に変え、社会や経済の仕組みをつくり、リーマンショックのような外部的ショックに対して強い地域をつくることです。それは地域の適応力があるということであり、内部的な経済力が強いということです。例えば、エネルギー税を上げるとエネルギーの節約をしよう、環境負荷を減らそうという働きが生じます。その税収で社会保険料の事業所負担を減らし、雇用を増やすというものです。低炭素社会というのは単に温室効果ガスの排出が少ないというのではなく、雇用の問題や地域経済の問題を合わせて解決する取り組み方でなければなりません。だから、グリーンニューディール政策を推進することが必要です。そして、地域から低炭素型の持続可能な地域社会づくりをしていかなければならないのではないのでしょうか。

やったことのないことをやらなければならない、そのためには創造性が必要となります。創造性を引き出すためには、産業や企業の研究開発力を高める必要があります。新しいものをつくるということをみんなで評価し、創造する力を地域や産業がつけ、それがわかる人を増やさなければなりません。



▲講師の植田和弘教授

それには享受力と想像力が必要であり、低炭素型の地域をつくとイノベティブな地域や企業が出てくるし、そういう人たちがたくさんいる地域ができる。今後、私たちは、公共の機関だけでなく、事業所にも大学にも地域のことを良くしようと取り組む人たちが、「地域公共人材」を育成していく必要があるのではないのでしょうか。「グリーン購入」など含めた環境への取り組みを進めるということは、新しい課題に取り組む力を持つということにつながっているのです。

★参加者からのメッセージ



近畿環境保全(株) 藤田アニコーさん

新規会員としてグリーン購入ネットワーク会員の先輩たちと交流できて、嬉しく思いました。弊社は昨年から滋賀GPNメンバーで、今年度のISO14001目標の一つとしてグリーン購入を全購入の3割にすることを目指していますが、これからもさらに増やしたいと思っています。弊社は廃棄物処理業者としてリサイクルの重要性を身近で感じていますので、環境に配慮した商品・サービスを応援しています。また、今回の総会で植田先生に講演会をしていただきまして、廃棄物からエネルギーを得る時代が来るというヒントをいただきました。これからの時代に向けて、消費者としての力と環境サービス提供者としての力を活かし、より良い社会を目指したいと思っています。信頼性と環境へ配慮する心が強いグリーン購入ネットワーク会員の皆様の手を組めば、社会へもっと大きな影響を与え、お互いの発展にもなれると私は信じています。



スターライト工業(株) 林克己さん

「環境」というテーマの大きさと重要性に、日々の業務展開や戦略立案等に悪戦苦闘の私にとって、今総会は新たな意欲を想起させてくれる場となりました。例えば「情報交換会」。他社の環境関連活動の取り組み事例等、大変参考になり有意義でした。これらの発展系やシステムティックな統合化によって、講演テーマのキーワードでもあった、「持続可能な地域社会」実現への具体的な施策へと結びつく可能性もあった次第です。同時に、それらを個人、企業の立場を問わず、当事者として自らも地道に実践し続けることが重要であると再認識しました。

フロアトーク 「自分が変わる、みんなで変わる」

- パネリスト
京都大学大学院 経済学研究科 教授 植田 和弘氏
滋賀県知事 嘉田 由紀子氏
グリーン購入ネットワーク会長 中原 秀樹氏
- コーディネーター
滋賀GPN代表幹事 土屋 正春氏

植田先生のご講演後、フロアトークを開催しました。

土屋代表：グリーン購入という運動を進めるにあたって大事なことは何でしょうか？

嘉田知事：私はよく職員に、県職員であると同時に地域住民の一員であるので、「地域の生活や活動にどれだけ汗をかけるのか」という話をしています。植田先生の話は、この方向とは逆に、地域住民の活動が公共であると示しておられ、このようなお互いの双方向の活動領域を広げていくことが大事と考えています。

琵琶湖は、地球環境の変化を表す小さな窓と違ってよく、地球規模の低炭素化社会の実現と琵琶湖の環境再生は車の両輪のようにセットの課題と考えています。現在、2030年における温室効果ガスの1990年比半減の目標を定めて取り組みを行っており、今年度中にそのためのロードマップをつくりながら、条例化に向けて進んでいきたいと思っています。このときに、目標という「モノ」に向けて、行動するという「コト」がなぜ必要かという「ココロ」が重要であり、この「ココロ」が理解されないと、人に説明することは難しい。

これからも活動される皆さんにとって、この「モノ」、「コト」、「ココロ」を一体にしていくことが大切なことであると考えています。



▲フロアトークの様子

土屋代表：経済成長と環境改善はともすれば、シーソーのようになってしまう。植田先生のお話に出てきた「デカップリング」が上手くいっている事例をご紹介いただきたいのですが。

植田先生：大きなビジョンを掲げている事例に、オバマ大統領の「グリーンニューディール」があります。これは、クリーンエネルギー創出のために、1500億ドルを投資して500万人を雇用、温室効果ガス削減にもつながるというものです。

中原会長：現在のグリーン購入ネットワークの活動は「もの」に集約しがちなところがあり、これをサービス産業に転換する脱物質化の方向に持っていくことが重要です。機械に頼るものづくりから、人の技を使い、その中で実感、豊かさを感じられるようなものづくり、サービス産業の発達というものが一番の課題ではないのでしょうか。

土屋代表：滋賀GPNも設立10周年を過ぎ、頂いた様々なご意見も参考にしながら今後の活動を見直していく時期だと考えております。ありがとうございました。

会員情報交換会 [参加者52名]

フロアトーク後、今回初の試みとして、会員情報交換会を開催しました。会場は熱気に包まれ、参加者の皆様からはご好評の声を多くいただきました。今年ご参加いただけなかった皆さまも、ぜひ次回はご参加ください。



第6期 役員紹介

任期：2010年6月～2012年5月

2010年度通常総会にて、滋賀グリーン購入ネットワークの第6期役員が決定いたしました。役員団体の担当者の皆様からのメッセージをご紹介します。

アドバイザー



一年半ほどのワシントン州シアトル市にあるワシントン大学での在外研究を終えて、この3月に帰国しました。よろしくお祈りします。

同志社大学 教授
山本良一

アドバイザー



私の先祖は本願寺派門徒の鉄砲鍛冶で国友から富山へ流れて行ったという言い伝えがあり、滋賀県は懐かしい感じがします。グリーン購入で世界を変えましょう。

東京大学 名誉教授
郡島 孝

代表幹事



事業仕分けをしよう！ という一体急に何か？となるでしょうが、本気なのです。そういう姿勢で日頃の活動を常に見直す1年間にしましょう。

滋賀県立大学 学長補佐
土屋正春

常任幹事

旭化成住工(株) 本社滋賀工場



最近の環境活動におけるキーワードである「生物多様性」にも、「グリーン購入」という切り口で取り組みたいと考えています。

総務部 ISO・リスク・コンプライアンス担当 主査
松宮秀典

関西電力(株) 滋賀支店



地球環境、エネルギー安定供給、経済性の同時達成に向け、当社はたゆまぬ努力と挑戦を重ねることで、グリーン購入に相応しい「電気」をお届けします。

総務・広報グループ リーダー
辻野功二

(財)淡海環境保全財団



琵琶湖の環境保全、生態系保全、地球温暖化防止そしてグリーン購入、様々な取り組みを行っており、その進め方や内容に違いはありますが思いは同じです。1つです。

理事長
力石仲夫

(株)滋賀銀行



「お金の流れが変われば経済も社会も変わる！」経済の血液である金融の役割を通じて、持続可能な社会構築に向けた取り組みを一層進めてまいります。

総合企画部 副部長兼CSR室長
西堀 武

たねやグループ(株)たねや



二年前のNLの役員紹介が私のGNPでのデビューでした。今までの経験をいかして、グリーン購入を意義ある行動にし、普及するようにつとめます。

環境経営室 主任
木田幸司

(株)平和堂



平和堂は、地域のお客様や子どもたちとともに、社員一丸となって、社会や環境との共生をはかる会社をめざし、積極的に取り組んでまいります。

環境推進室長
西塚哲夫

滋賀県



消費者、企業、行政が一体となってグリーン購入に取り組むことにより、持続可能な循環型社会を目指す滋賀GNPの活動に私も積極的に参加したいと思います。

会計管理局管理課 主幹
青井 正

草津市



滋賀GNPの活動を通じ、グリーン購入を推進するとともに、役員や会員の皆様との交流を深めていきたいと考えています。

環境課 専門員
黒川克彦

アインズ(株)



環境負荷の少ない「水なし印刷」を通じて、持続可能な社会づくりに貢献します。印刷時に発生したCO2をカーボンオフセットする排出権付水なし印刷「グリーンアイ」も展開中です。

取締役営業統轄
谷 康夫

近江鉄道(株)



身近なところからCO2削減をモットーに！グリーン購入も身近なところからではないでしょうか。これからの低炭素社会実現に向けて取り組んでいきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いします。

管理部 総務課 副長
高橋正文

大阪ガス(株) 滋賀事業所



大阪ガスは「グリーン購買指針」に基づいて、環境への負荷が少ない物品や工事を優先的に調達する「グリーン購買」を取引先様とともに推進しています。

滋賀コミュニティ室長
芝田三義

京セラ(株) 滋賀蒲生工場



工場のモットーは、環境商品を製造している企業の社員は「環境意識が高くてはならない」との考えの下、全員参加による環境活動に取り組んでいます。

環境安全部 環境課 責任者
澤田 昇

(株)沢田商店



「グリーン購入と気づかせないあたりまえの、普段着のグリーン購入が根づく、そんな滋賀県にしたいものです。」

代表取締役
沢田昌宏

(株)JTB西日本 大津支店



Find Local Act Globally ～地域を再発見し、世界的な交流促進～ JTBは環境に配慮し、地域活性化に取り組んで参ります。

営業第一課 営業担当課長
津名敏彦

新江州(株)



もったいない・おかげ様・ほどこにの「M・O・Hもう通信」(新江州(株))編集長をしております。「好き→個性→存在感→夢」が理想です。

循環型社会システム研究所 MOH通信編集長
辻村琴美

(株)瀬田アーバンホテル



ISO14001を取得し「環境にやさしいホテル」を目指しています。滋賀GNPでの幹事役も3期目となりました。今回は普及啓発を担当します。

専務取締役
片岡尉光

長浜キャノン(株)



長浜キャノンでは、社員一人一人が環境保全活動の高い意識を持って働くよう職場でのエコチャレンジ活動や環境川柳を募集し表彰する制度を設けています。

管理部 調達課
小林香里

日本電気硝子(株)



滋賀GNPの役員団体にもなりましたので、このネットワークを通じて得られる情報を生かして、積極的な取組みができるようにしていきたいと思っています。

環境管理部 担当課長
下村真司

びわ湖放送(株)



私たちがびわ湖放送では社内での意識向上に加え、滋賀県唯一のテレビ局として放送を通じて琵琶湖を中心とした豊かな恵みを大切にするを呼びかけて参ります。

制作部 グループリーダー
井上みゆき

びわ湖パナソニックファミリー会



びわ湖パナソニックファミリー会は連携を取り合い 清掃活動やヨシ刈り等、環境保全活動を積極的に行うことで持続可能な社会づくりに貢献していきます。

パナソニック電工(株) 栗東工場 管理G 事務総課長
中川浩伸

甲賀市



市では「グリーン購入のための手順書」等に則りグリーン購入を推進するほか、市のエコフェスタでも「環境にやさしい暮らし」をみんなで考え実行しています。

生活環境課 係長
藤村加代子

東近江市



自治体として組織的な取り組みは遅れ気味な東近江市ですが、会員の皆様方の活動・取り組みを参考にさせていただき、今後の活動につなげていきたいと思っております。

生活環境課 主任
大橋理恵子

彦根市



環境負荷の低減に貢献するグリーン購入の可能性を広げ、低炭素社会を実現できるよう、彦根市においてもグリーン購入の取り組みを推進していきます。

生活環境課 主事
木戸智子

野洲市



グリーン購入を通じて、行政と市民や事業所の協働による、持続可能な循環型社会を進めていきたいと考えております。

総務課 課長補佐
竹中 宏

NPO法人 碧いびわ湖



私たちが目指すのは「未来につながる暮らし」です。人と人、人と自然とが心地よくつながる暮らしを、滋賀GNPの皆様と共に創りたいと思っております。

代表理事
村上 悟

滋賀県生活協同組合連合会



滋賀県生協連では会員生協とともに、琵琶湖の環境保全から地球温暖化防止の取り組みまでネットワークをつくりながら活動を進めています。

事務局長
神門 浩

滋賀県地域女性団体連合会



地球温暖化防止に必要なことは、私達消費者の行動に有ると思っております。身近な日々の生活の見直しこそが私たちにできる未来への責任です。

副会長
上阪よう子

滋賀県立大学グリーンコンシューマサークル



「環境」「性能」「価格」「デザイン」を両立する文具を中心に、学生にお奨めしたい商品を選定し、大学生協の仕入れに働きかけています。

代表
小河原慎一

会計幹事

(財)滋賀県産業支援プラザ



私たちは、創業を目指す人や企業への段階に応じた様々な支援を通じて、滋賀の元気と持続的な発展に寄与したいと願っています。

理事
土屋恵章

長浜市



本年1月に合併し、ますますグリーン購入の普及・啓発・推進に努めていかなければならないと心新たにしております。

契約検査課 課長
傍島 治



事務局
今年度から事務局も新しいスタッフで頑張っています。お立ち寄り下さい。

前左より松本事務局長、辻、井田、大森、小田垣

エコ情報室①

結・社会デザイン事務所代表
菊池玲奈さんに聞きました!

「生物多様性」と 「食のグリーン購入」

皆さんは「生物多様性」という言葉をご存知ですか? 1992年に開催された地球サミットにおいて「気候変動枠組み条約」と「生物多様性条約」の2つの条約が結ばれ、「地球温暖化防止」と「生物多様性保全」は、環境保全のための「両輪」として国際的に位置づけられました。しかし、日本での「生物多様性」の認知度は、残念ながら未だ約30%にとどまっています。

私たちが生きていくために必要な様々な自然の恵みは、生物多様性によってもたらされています。「ミレニアム生態系評価」(※1)では、食べ物や水、木材などの「資源の供給サービス」、気候や洪水などがコントロールされる「調節的サービス」、そして精神的な癒しを含む「文化的サービス」など、様々な生態系サービスがあってこそ、人間は幸せに生活していくことができると整理されています。

しかし現在、この生態系サービスのうち60%が減少傾向にあるとされています。実はその大きな原因のひとつが「食

菊池さんには、「食から始めるCSR活動セミナー ~社員食堂でEAT ECO!」(6月25日開催)において講師をお務めいただきました。

結・社会デザイン事務所 代表
菊池玲奈さん ▶



べもの」にあります。食糧の効率的な増産技術の追求の結果、穀物、家畜、水産養殖などの分野は大きく発展しましたが、農業形態の大きな変化に伴う農地の開拓や、膨大な肥料・飼料の投入などにより、その他の生態系サービスに大きな影響を与えています。「人にやさしい食」という観点から、地球の他の生きものとも恵みを分かち合う「人にもやさしい食」という、もうひとつ膨らんだ観点へと転換していかなければならないと思います。

「消費者」の行動は、生態系の行く末に大きな鍵を握っています。生物多様性の観点から食べ物を選択し、購入することは、私たち自身が「安全性・栄養・おいしさ」を得るだけでなく、未来世代の人々、そしていきものたちにも健全な生態系、「自然のめぐみ」を引き継ぐことにつながっているのです。

※1 国連の呼びかけにより2001年~2005年にかけて行われた大規模な地球環境のアセスメント。

会員からのお知らせコーナー

できることから始めよう!~びわ湖・滋賀が育むエコスタイル~ びわ湖放送(株)

今年度3年目を迎えるBBC独自で取り組む環境番組。今年度は、環境問題について楽しく考えていただけの内容を心がけました。番組では県内各地を訪ね歩きその地域の風景や人々の暮らしをレポートする「おじやまします!エコ探訪」環境に関する様々な分野で活動を続ける「人」にスポットをあてる「淡海のエコ達人」子供たちの活動を紹介する「エコキッズ大作戦」など

の企画を盛り込んでいます。是非一度ご覧ください。
放送:毎月第4土曜日午後9時~
再放送:第4日曜日正午~
*番組編成上放送日時が変更になる場合もあります。

<お問合せ> びわ湖放送(株)
大津市鶴の里16-1 TEL:077-524-0151

びわ湖の森を元気にする紙・kikitoペーパー NPO法人 碧いびわ湖

紙を買うと、びわ湖の森が元気になる♪ そんなステキな製品が、kikito(キキト=湖東地域材循環システム協議会)のみなさんの手で生みだされました。

kikitoの目的は、びわ湖の森の木が地域で循環する仕組みを作ること。kikitoペーパーを私たちが購入すると、これまで山に放置されてきた間伐材や小径木が、購入した紙と同重量分(乾燥重量)、製紙メーカ

ーに買い上げられます。滋賀GPNの会員(約450団体)みんなでA4用紙を1ケースずつ購入すれば、4.5tの未利用材が活かされ、森も山主さんも元気に。

はじめませんか、びわ湖にはたらかけるグリーン購入!県内一円にお届けいたします。
<お問合せ> NPO法人 碧いびわ湖
近江八幡市安土町下豊浦3 TEL:0748-46-4551

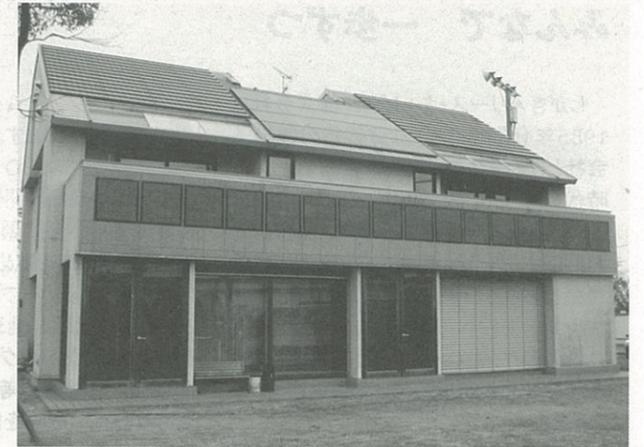


エコ情報室②

太陽光が作る クリーンエネルギーで 地球温暖化STOP!!



京セラ(株) 滋賀蒲生工場
環境安全部 環境課 責任者
澤田 昇さん



▲ソーラー発電設置の家

地球温暖化の主原因と考えられているCO₂の排出量は、近年、家庭部門において著しく増えており、現在の排出量は1990年度に比べ約40%も増加しています。

また、滋賀県は「持続可能な滋賀社会ビジョン」及び「第3次滋賀県環境総合計画」の中で、2030年における温室効果ガス排出量を、1990年度比で50%削減する目標を掲げています。この目標を達成して低炭素社会を実現するには、県民・事業者・行政(国・県・市)など多様な主体が、あらゆる分野で中長期的な取り組みを実施していく必要があると言えるでしょう。これらの背景を踏まえると、家庭用ソーラー発電システムの導入を推進していく事も、有効な温暖化防止策の一つであると考えられます。

幸い、国や多くの自治体では、昨年度に続きソーラー発電システム導入に対する補助金制度を制定しており、また、電

力会社による発電余剰電力買い取り制度も継続されるなど、現在はソーラー発電システムを導入しやすい状況にあるといえます。この機会に、一度導入を検討されてみてはいかがでしょうか?

「国・自治体によるソーラー発電設置補助制度」

	国(J-PEC)	県	市	備考
大津市	7万円 (10kWまで)	3万円 (上限12万円)	1万円	上限3万円
長浜市			1件あたり 10万円※2	市指定の商品券による交付 市内業者による施工、 最大出力2kW以上が条件
草津市			1.5万円	上限5万円
野洲市			3.2万円	上限12万円
東近江市			2万円	上限10万円 地域商品券による交付
彦根市			3万円	上限10万円 他の省エネ設備との併設が条件
近江八幡市			3万円	上限10万円
高島市			3万円	上限10万円

※1 補助額は1kWあたりの金額で表示してあります。補助金額や条件に関する詳細はJ-PECまたは各自治体にお問い合わせ下さい。
※2 長浜市の補助は、設置1件に対して一律金額の給付となっています。他の自治体と異なり、最大出力の増加による補助額の追加はありませんので、ご注意下さい。

新規入会会員 (2010年2月1日~7月31日)

(有)キクヤオフィスサービス、(株)きじまや、滋賀県立大学環境マネジメント事務所、(株)杉本商事、輪の国びわ湖推進協議会、(株)帝産観光バス滋賀、滋賀県農業協同組合中央会、住江甲賀(株)、(株)e-プランニング、(株)孫幸

現会員数: 441 (2010年7月31日現在)
(企業388、行政21、非営利団体32)



▲通常総会では、新規入会会員の皆様をご紹介しています。また、新規会員をご紹介いただいた会員に「感謝状」をお贈りしています。

リレーTalk

「だから今、グリーン購入」

みんなで 一歩ずつ

しがぎんリース・キャピタル株式会社
代表取締役社長 杉中 明和さん



しがぎんリース・キャピタル株式会社は1985年(昭和60年)滋賀銀行の連結子会社として設立され、リース業務を通じて、時代のニーズ、企業のニーズにお応えしてまいりました。近畿の水がめ、琵琶湖の湖畔に本拠を置く弊社は、総合リース・投資会社として、環境にやさしい商品、省エネルギー物件への取組や、環境にやさしい企業のベストパートナーとして、高度化、多様化するお客様のニーズにお応えしております。

また、弊社のエコオフィスづくりの中で、省資源・省エネルギーを推進し、3つの「R」Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)を通じて、環境ソ



しがぎんリース・キャピタル創立25周年 植樹記念

リューションシステムへの対応を積極的に取り組んでおります。

平成14年にはISO14001を取得し、環境にやさしい商品の開発、推進に取り組み、滋賀の美しい自然環境の保全、地域社会との共存共栄を進めてまいりました。(本年よりしがぎんグループのサイトで取り組み)

弊社の社員は、地球市民の森での植樹活動や草刈り等のグリーンサポート活動、葎刈りボランティア等を通じて琵琶湖の環境改善への取組を自主的に致しております。

また、リース会社として、入口で環境にやさしい物件のリースに対して、エコリースとして推進し、出口であるリース終了時には、3Rの推進をいたしております。入口の環境にやさしい物件の購入に対してグリーン購入の推進は言うまでもありませんが、弊社のオフィスで使用するコピー用紙100%は再生紙であり、文具の90%はグリーン商品であります。

平成16年創立20周年を契機に地域で

展開されます環境保全活動に対し当社の収益金の一部を毎年贈呈させていただいております。具体的には、前年度の環境対応型リースの取扱件数・金額および環境経営を展開する企業への投資に対して一定の金額を乗じて、弊社の収益金より寄付を致しております。金額は僅かですが、このような様々な分野における滋賀県民の自主的で営利を目的としない社会活動を総合的に支援いたしております。

これからも、社是である3つの「わ」(人の和、仕事の輪、社会の環)を礎に、地球環境の保全ならびに負荷低減を企業活動の基本とした「環境との共生」をめざして、頑張っております。

今回は、(株)滋賀富士通ソフトウェアさんにお願ひします。

しがぎんリース・キャピタル(株)
滋賀県大津市浜町4番28号 浜町ビル4・5階
<http://www.shigagin-slc.co.jp/>

編集後記

滋賀GPN参加団体数も約450社となり発足当時から倍増しました。組織が大きくなったこともあり、今後も会員意見を反映し、運営しやすくするために部会を設置するなど運営体制を見直しました。その部会の一つである「普及啓発部会」のリーダー役を仰せつかりました関西電力(株)の辻野です。

普及啓発部会ではニュースレター作成、消費者向けキャンペーン、地域講座、食のグリーン購入などの事業を推進していきます。これらの事業は全て、環境に配慮した製品・サービスを優先的に選択する「グリーンコンシューマー」を育成することを目的としています。中でも、本年度のみの事業ですが、地域に密着してグリーン購入啓発活動を展開する「地域講座」では、滋賀県を7ブロックに分けて各地でグリーン購入に関する講座を開きます。研修講座の開催の機会を利用して、各会員の環境活動実践事例やノウハウなどについて情報交換する機会をつくっていきたいと考えています。

滋賀GPN会員全員が楽しく、仲良く、そして効率的に環境問題に向かい合える姿を目指し、今後ともご指導ご協力宜しくお願いします。

(普及啓発部会リーダー 辻野功二/関西電力(株))

「人間でどうしょもない生物や。自然環境は破壊するし、おまけに勝手に作ったお金という無形のもの概念のために、戦争までしょーる。」

「地球上の全ての動植物に誰が嫌いなのかアンケート取ったら断トツの一位が人間や」

つい最近友達と交わした会話です。人間って、もしかすると、いやきと地球で一番の嫌われ者になったのかもしれない。

「あいつらが、こんな地球にしたんや。人間がおらんかったら温暖化なんかなかったんや。あー暑い。人間はエアコンがあるしええよな。」ホッキョクグマが言ってるのかもしれない。

産業革命以降の人為的な環境破壊と消費社会が人類を、断トツの嫌われ者にしたことは疑いようがありません。今度は人間の手でこれ以上の破壊をストップさせ、持続可能な社会を作り上げる番じゃないのか。再び人間も含めた生き物たちの賑わいの場としての輝ける地球にするために。人間しか考え得なかった「お金」という概念を使った「お買い物」で、環境面から商品やサービスを評価するグリーン購入の出番!

10年間で培った経験と使命感を共有し、GPN会員全員で一致団結してグリーン購入の理解者や実践する人々を増やしていきたいでしょう!

(普及啓発部会 木田幸司/たねやグループ)

編集・発行/滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807

滋賀県大津市松本一丁目2番1号 大津合同庁舎6階

TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586

E-mail:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:<http://www.shigagpn.gr.jp/>

このニュースレターは、GPN-GL14「オフセット印刷サービス」発注ガイドラインに基づき作成しています。

